

## 標準委員会 第27回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日時 2015年3月2日(月) 10:00~11:10
2. 場所 田中田村町ビル・貸し会議室(6階)A会議室
3. 出席者(敬称略)
  - (出席委員) 萩原(副部会長), 吉田(幹事), 伊藤, 岡本, 奥田, 北島, 越塚, 堺, 宿谷, 田中, 西田, 沼田, 日比, 宮坂(途中入室) (14名)
  - (代理委員) 平尾好弘(海上技術安全研究所/坂本代理), 中瀬辰男(関西電力/藤井代理) (2名)
  - (欠席委員) 上野, 佐田, 山口, 石川 (4名)
  - (常時参加者) 笠原 (1名)
  - (説明者) [シミュレーションの信頼性分科会] 中田耕太郎(主査), 田中正暁(幹事), 工藤義朗(常時参加者) (3名)
  - (オブザーバ) 田村明男(原子力安全推進協会) (1名)
  - (事務局) 中越, 谷井 (2名)

### 4. 配付資料

- ATC27-0 議事次第
- ATC27-1 前回議事録(案)
- ATC27-2 人事について
- ATC27-3-1 「シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン:201X」標準委員会の決議投票結果について
- ATC27-3-2 「シミュレーションの信頼性確保のためのガイドライン:201X」標準委員会の決議投票対応
- ATC27-4-1 日本原子力学会標準「原子力施設の廃止措置の実施:200X」の附属書に関する記述の修正について
- ATC27-4-2 (旧) 文献引用箇所対照表
- ATC27-4-3 (新) 文献引用箇所対照表(1/2)、(2/2)
- ATC27-5 基盤・応用技術専門部会 標準策定5ヵ年計画(案)
- ATC27-6 分科会の活動状況について

### 参考資料

- ATC27-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC27-参考2 標準委員会の活動状況

### 5. 議事内容

事務局から開始時点で委員20名中, 代理委員を含む15名の出席があり, 委員会成立に必要な委員数(14名以上)を満足している旨, 報告された。

#### (1) 前回議事録(案)の確認(ATC27-1)

前回議事録(案)について事前に配付されていた内容で承認された。

#### (2) 人事について(ATC27-2)

- 1) 部会長の選任投票

出席委員(代理を含め)全員を対象として、投票を行った後、副部会長の立会のもと、委員総数15名の過半数である8名以上の得票である9票を萩原 剛氏が得たことを確認したため、萩原 剛氏が基盤・応用技術専門部会部会長として選出された。

投票総数	15票
萩原 剛	9票
越塚 誠一	4票
吉田 啓之	1票
白紙	1票

続いて、萩原新専門部会長から越塚委員に副部会長を指名するとともに吉田委員に幹事を継続して指名した。

事務局からATC27-2に基づき、専門部会及び分科会の人事についてそれぞれ下記の提案があり、審議の結果、承認又は確認された。

1) 専門部会

①部会長退任の確認

岡本 孝司(東京大学)

2) 分科会

①委員退任の確認

【シミュレーション信頼性分科会】

中村均(伊藤忠テクノソリューションズ)

②新委員選任の承認

【シミュレーション信頼性分科会】

田中 正暁(日本原子力研究開発機構)

③常時参加者登録解除の確認

【シミュレーション信頼性分科会】

田中 正暁(日本原子力研究開発機構)

(3) 【報告・審議】「シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X」標準委員会の決議投票結果及びその対応について(ATC27-3-1, ATC27-3-2)

事務局から ATC27-1 に基づき、“シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン:201X”の決議投票結果、可決されたことの報告があった。続いて、シミュレーションの信頼性分科会の中田主査、田中幹事、工藤常時参加者及び笠原常時参加者から ATC27-3-2 に基づき、決議投票で出た意見への対応案等について報告があった。

審議の結果、対応案における内容は編集上の修正であること及びこの内容を標準委員会で本報告することが決議された。

(4) 【報告・審議】「原子力施設の廃止措置の実施」の附属書に関する記述の修正について(ATC27-4-1, ATC27-4-2, ATC27-4-3)

廃止措置分科会の田村委員候補から ATC27-4-1, ATC27-4-2, ATC27-4-3 に基づき、“原子力施設の廃止措置の実施:201X”の附属書に関する記述の修正について以下の報告があった。

転載許諾手続きの中で、日立造船より附属書Nの記載内容変更の要請があった。内容検討の結果、技術的には特に問題なく、編集上の修正と同等と考えるので、先方要請どおり修正することとしたい。

審議の結果，提案する内容は編集上の修正であること及び標準委員会でこの内容を報告することが決議された。

(5) 【報告・審議】標準策定 5 年計画について (ATC27-5)

基盤・応用技術専門部会の吉田幹事から ATC27-5 に基づき，標準策定 5 年計画について報告があった。

審議の結果，本案で標準委員会へ報告することが決議された。

6. その他

(1) 次回第29回基盤・応用技術専門部会は，5月29日（金）午後から開催することになった。

以上